

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和7年7月11日

施設名	高知県立高知公園	所管課	歴史文化財課
-----	----------	-----	--------

1 施設の概要

指定管理者名	入交グループ高知公園管理組合	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
施設所在地	高知市丸ノ内1丁目2-1(管理事務所所在地)		
事業内容	<p>1 施設及び設備の維持管理に関する業務 (1) 設備・施設内の機器類の保守点検業務 (2) 清掃・監視業務 (3) 樹木等の管理業務 (4) 文化財の日常管理 (5) 施設の警備業務 (6) 巡視業務 (7) 懐徳館の管理及び利用料金の徴収業務 (8) 高知公園駐車場管理業務</p> <p>2 高知公園の利用促進に関する企画業務 (1) イベント等の開催 (2) ホームページの運営 (3) パンフレットの作成 (4) サービス改善提案事業</p> <p>3 その他管理運営上必要な業務 (1) 観光促進に関する業務 (2) 車両通行許可 (3) 管理運営に関する協議 (4) モニタリング(自己評価の実施及び県のモニタリングへの協力)</p> <p>4 引継業務</p>		
施設内容	<p>・敷地面積: 106,045.88㎡</p> <p>・主な管理対象施設: 天守、懐徳館、追手門等重要文化財建造物15棟、駐車場、管理事務所、公衆便所、石垣、堀、樹木、花壇等</p> <p>・開館時間: 天守、懐徳館等 1月2日から12月25日まで(9時から17時) 駐車場 1月1日から12月31日まで(7時30分から18時30分)</p> <p>・利用料金: 高知城天守・懐徳館・東多聞・廊下門 大人500円(～R7.3.31 420円) 駐車場 自家用車 基本料金370円・超過料金110円 バス 基本料金580円・超過料金230円</p>		
職員体制	常勤職員 22人		

2 収支の状況

単位: 千円

		令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
収入	県支出金	34,243	36,960	35,748
	使用料・手数料	129,756	122,142	141,005
	その他	4,749	3,769	1,300
	収入計 (a)	168,748	162,871	178,053
支出	事業費			5,000
	管理運営費	46,692	42,993	45,303
	人件費	115,779	122,148	126,138
	その他	824	4,472	1,612
	支出計 (b)	163,295	169,613	178,053
収支差額 (a) - (b)		5,453	-6,742	0

3 利用状況

	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	278,526 (235,113) ※カッコ内は、有料入館者数	276,355 (227,267)	257,757
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>1 時期:全期間 2 方法:公園内2箇所にアンケート箱を設置し、投函していただく。 3 回答数:836件(回答用紙:724件、インターネット:112件) ※前年1,163件 おおむね高知公園に対する好評価が認められる。 4 アンケートに記載された主な意見</p> <p>○特に評価が多かった事項 重要文化財建造物が適切に保存されていること、公園の整備が適切に行われていること、ボランティアガイドの案内</p> <p>○行ってほしいイベント 大名行列や城攻めなど歴史を感じられるイベント、プロジェクションマッピング、アニメ・特撮ヒーロー・ソーシャルゲームとのコラボイベント、宿泊イベント、謎解きイベント、スタンプラリー、山内一豊イベント等</p> <p>○要望 バリアフリー対応、二輪駐車場・自転車駐輪場の整備、冷やしタオル復活、スリッパの準備</p> <p>引き続きアンケート改善のため以下の取り組みを求める。 ・アンケートを集計するだけでなく、アンケート内容の評価分析を行うこと。 分析結果を職員全員で共有したうえで、ミーティング等を実施し改善につなげる</p>		
③その他特記事項	<p>・高知城花回廊(4/5-7)、よさこい鳴子踊り(8/9-12)、シャドウアップ高知城(12/6-1/13)、城下町キッチン(12/6-1/13)、高知城フォトコンテスト(12/6-1/31)</p> <p>・大型客船(高知港寄港)の回復(R6実績:53件、R5実績:56件)</p>		

4 令和6年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	平常の業務は、仕様書に基づき適切に実施されている。利用者アンケートの感想からも、整備が行き届いているとの評価を得ている。
②利用者サービスの維持向上	<p>コロナ禍以前は、年間30万人を超える観光客が高知城を訪れており、高知県を代表する観光施設でもあるため、常にサービスの充実改善が求められている。</p> <p>令和6年度は、公式ホームページの改修を行い、利用案内、バリアフリー案内等が分かりやすくなった。事前に細かな情報を入手できるようになったことから観光客の利便性が向上したと考えられる。また、高知城歴史博物館の企画展等の情報を窓口でも明示し、セット券の販売につながるよう取り組むなど高知城歴史博物館との連携強化も行った。夜間イベントに合わせて城下町キッチン、フォトコンテストを開催し、観光客増加に向けた新たな取り組みも行った。</p>
③利用実績	<p>入館者数を令和5年度と比較すると、若干減少している(前年比99.2%)。前年度の「らんまん」効果からの反動で県立施設の入館者数が全体的に減少しており、高知城も同様の傾向にあったと考えられる。入館者目標数298,682人に対しては、目標比92.5%と及ばなかった。</p> <p>夜間開館(18:00-21:00)を実施した花回廊では1,096人(3日間)、シャドウアップ高知城では、10,865人(39日間)の入館があった。</p>

④収支の状況	<p>令和6年度は、通常の指定管理業務外の危険木対応が発生したことから県は、管理代行料の増額を行った。6年度の管理代行料は当初32,494千円であったが、4,466千円の増額を行い、最終の管理代行料は、36,960千円となった。</p> <p>最終的な収支差額は、▲6,742千円の赤字となった。物価高騰、人件費の増加による影響が主な要因であるが、その他経費の削減を行うなど赤字の縮小に努めた。</p>
総合評価	<p>入館者数の減少による減収、物価高騰の影響による支出増といった厳しい状況の中、経費削減に努め、業務の工夫等により適切な公園管理を維持していた。その結果、清掃や樹木管理といった公園整備に対する来園者からの評価はこれまで通り高く、利用者サービスの向上のため、新たなイベントの実施に取り組むなど積極的な姿勢もみられ全体的に適正な指定管理業務が行われたものと評価できる。</p> <p>近年はクルーズ船の寄港が増加していることから、例年実施している語学研修をステップアップさせる等、インバウンド対応にも積極的に取り組んでいきたい。</p>
B	

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの